

令和4年第4回安城市議会定例会陳情文書表

令和4年11月30日

番 号	陳 情 第 1 号	受理年月日	令和4年11月4日
件 名	15歳以下の新型コロナワクチン接種券配布の申請制導入に関する陳情		
提 出 者	久 田 若 菜		
付託委員会	健康福祉常任委員会		
要 旨	<p>陳情の趣旨</p> <p>日頃は安城市政にご尽力頂き、安城市民として深く感謝申し上げます。</p> <p>現在、新型コロナワクチン（遺伝子ワクチン）は短期間では一定程度の有効性があるとされているものの中長期の安全性は分かっていない状況です。</p> <p>そして小児に対する新型コロナ感染の症状は、現在（令和4年9月26日公表分まで）の死亡率は0% 重症化率は0～0.02%と相当低い確率です。</p> <p>（第102回（令和4年10月12日）新型コロナウィルス感染症対策アドバイザーボード 大阪府健康医療部 藤井先生の厚生労働省へ提出資料より参照）</p> <p>この様に小児に危険性がとても少ないウイルスに対して、中長期的に安全性が分かっておらず接種後の死亡を含めた重篤な障害の報告が上がっているワクチンを接種する場合には、極めて慎重に判断する必要があります。</p> <p>今回の新型コロナワクチン（遺伝子ワクチン）接種券を従来他のワクチンと同様に一律に送付され続けることは、より慎重に判断して考える機会を失いかねません。</p> <p>保護者の方には、お子様お一人お一人の状況をふまえて慎重に打つ、打たない、もう少し様子を見るといった判断ができるよう、そのきっかけとして15歳以下（予診票に保護者の署名が必要な年齢）の新型コロナワクチン接種券の配布は、保護者の申請の有無により配布を行う必要があると考えます。</p> <p>よって、以下事項を実施して頂きますよう陳情致します。</p> <p>陳情事項</p> <p>15歳以下の新型コロナワクチン接種券配布の申請制導入</p>		